

通し番号	5118
------	------

分類番号	R04-14-12-1
------	-------------

酒造好適米の品種特性を明らかにしました	
<p>[要約] 6月上旬及び中旬移植で県特定品種の‘若水’と比較すると、‘楽風舞’は成熟期（収穫期）が約2～3週間早く、倒伏がなく、玄米重は同等です。‘山田錦’は成熟期（収穫期）が10日程度遅く、稈長が長く、倒伏することがあり、玄米重が約2割少なくなります。‘雄町’は成熟期（収穫期）が2週間程度遅く、稈長が長く倒伏することがありますが、玄米重は6月上旬移植で約1割、6月中旬移植で約4割多くなります。いずれの品種も玄米の外観品質及びタンパク質含有率は同等です。</p>	
神奈川県農業技術センター・生産技術部	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

近年、県内の酒造会社による地元産米を使った新たな商品開発の取組みが進み、産地品種銘柄の栽培が増えているが、本県における生育や収量等に関する知見がない。そこで、本県特定品種の‘若水’を対照に、産地品種銘柄である‘楽風舞’、‘山田錦’及び‘雄町’の生育や収量等の品種特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 6月上旬及び中旬移植での成熟期（収穫期）は、‘若水’に比べて、‘楽風舞’は約2～3週間早く、‘山田錦’は10日程度、‘雄町’は2週間程度遅い（表1）。
- 2 いずれの品種も6月上旬移植と6月中旬移植で稈長の差は小さく、‘楽風舞’は75cm程度で‘若水’よりやや短く、倒伏しないが、‘山田錦’及び‘雄町’は約120～130cmで‘若水’より長く、倒伏が見られる（表1）。
- 3 玄米重は、‘若水’に比べて‘楽風舞’は同等、‘山田錦’は約2割少なく、‘雄町’は、6月上旬移植で約1割、6月中旬移植で約4割多い。また、いずれの品種も6月上旬移植より6月中旬移植で多収となる（表2）。
- 4 登熟歩合は、‘若水’に比べて‘楽風舞’及び‘雄町’はやや低く、‘山田錦’は同等であり、整粒歩合は、いずれの品種も‘若水’より高い（表2）。
- 5 玄米の外観品質及びタンパク質含有率は、いずれの品種も‘若水’と同等である（表2）。
- 6 いずれの品種も玄米の外観品質は6月中旬移植より6月上旬移植で優れる（表2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 6月上旬は6月7日、6月中旬は6月17日に移植した。
- 2 施肥量（成分量：kg/10a）は、基肥でN：P₂O₅：K₂O＝4：6：6、追肥でN：P₂O₅：K₂O＝2：0：2を施用し、追肥時期は、6月7日移植が7月26日、6月17日移植が8月2日に行った。

[具体的データ]

表1 生育調査結果 (2022年度)

試験区		出穂期	成熟期	収穫日	稈長 ^z	穂長 ^z	穂数 ^z	倒伏
品種	移植期	(月.日)	(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/m ²)	程度 ^{zy}
楽風舞	6月上旬 ^x	8. 5	9. 12	9. 12	76.5	19.9	293	0.0
	6月中旬 ^w	8. 10	9. 20	9. 20	75.6	19.0	301	0.0
山田錦	6月上旬	8. 30	10.13	10.13	115.0	19.3	331	3.0
	6月中旬	9. 6	10.17	10.17	118.1	20.1	405	3.0
雄町	6月上旬	9. 5	10.17	10.17	129.1	23.8	319	3.0
	6月中旬	9. 11	10.20	10.20	128.5	25.1	283	3.0
若水	6月上旬	8. 20	10. 3	10. 3	78.8	21.2	270	0.0
	6月中旬	8. 23	10. 6	10. 6	83.4	21.3	364	0.0

^z 2022年9月14日調査。^y0(無)~5(甚)の観察調査。^x6月7日、^w6月17日。

表2 収量・品質調査結果 (2022年度)

試験区		精糲重		玄米		登熟歩合	整粒歩合 ^y	玄米タンパク質含有率 ^x
品種	移植期	(kg/a)	(kg/a)	重	千粒重			
				重	千粒重	(%)	(%)	(%)
				(g)	外観品質 ^z			
楽風舞	6月上旬 ^w	51.0	35.8	25.9	5.0	75.2	65.8	7.8
	6月中旬 ^v	64.6	41.4	25.4	7.0	81.9	78.8	7.4
山田錦	6月上旬	55.3	29.2	27.9	4.5	88.5	78.8	7.0
	6月中旬	64.7	32.5	27.7	7.0	87.8	76.4	7.2
雄町	6月上旬	54.1	42.4	27.0	5.0	83.2	78.4	7.3
	6月中旬	81.7	57.7	26.6	7.0	69.5	72.4	7.3
若水	6月上旬	58.4	38.2	28.4	4.5	88.8	55.7	7.3
	6月中旬	64.6	41.2	27.6	7.0	89.4	54.7	7.7

^z 観察調査1(上上)~9(下下)、^y2.0mm以上の玄米数/全玄米数、^x成分分析計(静岡製機MT-3500P)を使用。^w6月7日、^v6月17日。

[資料名] 令和4年度試験研究成績書

[研究課題名] 酒造好適米の栽培特性

[研究期間] 2020(令和2)年度~2022(令和4)年度

[研究者担当名] 岡野英明、横田秀海

[協力・分担関係]